

### 1. 適用範囲

本書は、DF52 シリーズ圧着端子をケーブルに圧着して、圧着ケースに端子を挿入するまでの手順について規定するものです。

### 2. コネクタ品名 3

品名	一般名称	備考
DF52(A)-2832PCF(A)(##)	圧着端子	適合電線：AWG28～32
DF52(A)-*P-0.8C(##)	圧着ケース	

\*=極数、(##)=仕様番号

### 3. ハーネス手順

#### 3.1. ケーブルストリップ

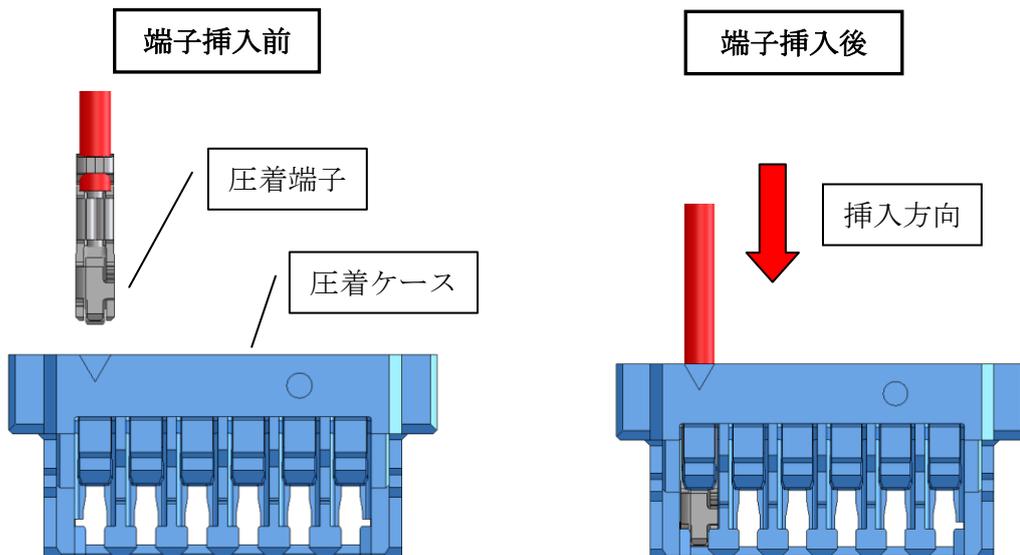
圧着品質基準書 (ATAD-H0789) に基づき、ケーブルのストリップを行います。その際、ケーブル芯線に傷が入っていないかの確認を行って下さい。

#### 3.2. 圧着工程

アプリケーション (AP105-DF52-2832P) を用いて圧着を行い、圧着条件表、圧着品質基準書 (ATAD-H0789) に基づき、圧着ハイト、圧着形状を確認します。

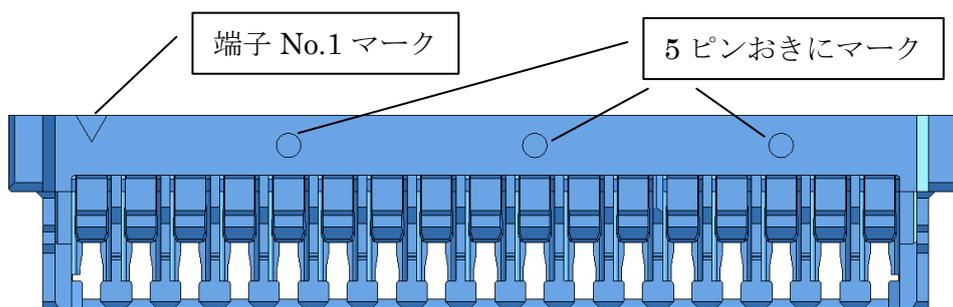
#### 3.3. 圧着端子ソケット挿入

圧着された端子のケーブルを持って、圧着ケースの各端子穴に挿入します。  
(下図の矢印方向に端子を挿入。)



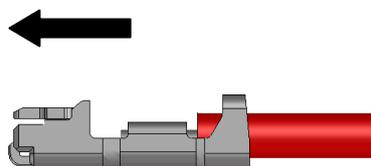
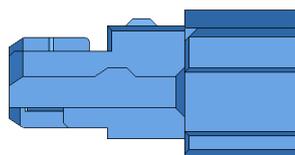
COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE												
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> 1	DIS-H-00004569	TS. KUMAZAWA	SZ. ONO	20190109												
名称 TITLE		<div style="display: flex; align-items: center;"> <b>HIROSE ELECTRIC CO., LTD.</b> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>APPROVED</td> <td>KI. AKIYAMA</td> <td>20140522</td> </tr> <tr> <td>CHECKED</td> <td>HK. UMEHARA</td> <td>20140521</td> </tr> <tr> <td>DESIGNED</td> <td>TH. YOSHIZAWA</td> <td>20140521</td> </tr> <tr> <td>WRITTEN</td> <td>TH. YOSHIZAWA</td> <td>20140521</td> </tr> </table>			APPROVED	KI. AKIYAMA	20140522	CHECKED	HK. UMEHARA	20140521	DESIGNED	TH. YOSHIZAWA	20140521	WRITTEN	TH. YOSHIZAWA	20140521
APPROVED	KI. AKIYAMA				20140522											
CHECKED	HK. UMEHARA				20140521											
DESIGNED	TH. YOSHIZAWA				20140521											
WRITTEN	TH. YOSHIZAWA	20140521														
DF52 シリーズ ハーネス手順書																
技術指定書 TECHICAL SPECIFICATION		ATAD-H0791	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>	1 / 3												

- ・ 圧着ケースの端子 No.表示は以下の通りです。  
(下図は DF52-17P-0.8C の場合。)

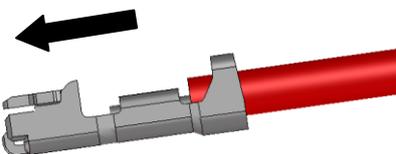
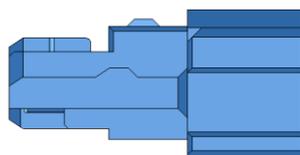


- ・ 性能信頼性を維持するため、圧着端子を斜め挿入（上方向）は行わない下さい。

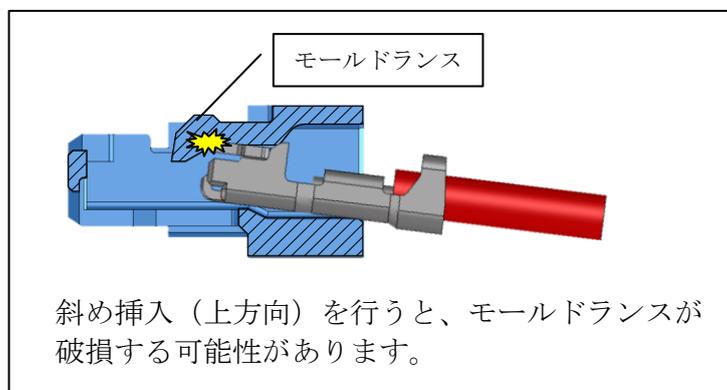
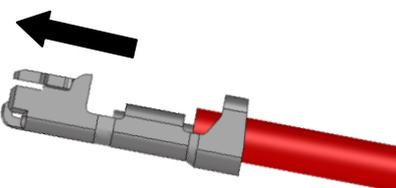
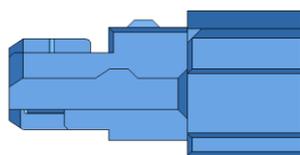
水平挿入 ○



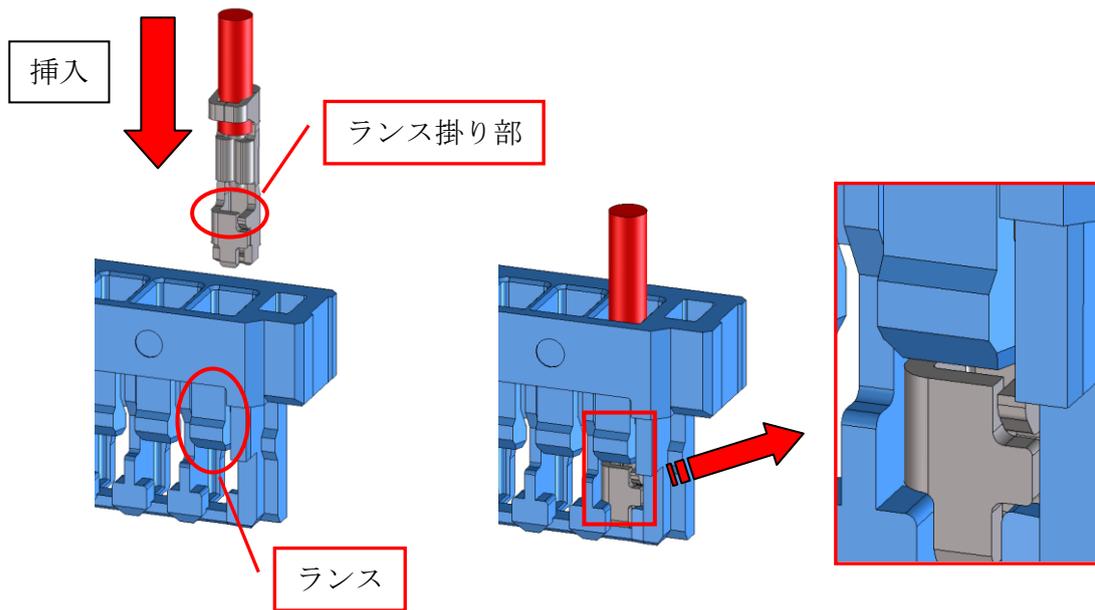
斜め挿入（下方向） ○



斜め挿入（上方向） ×



- ・ 圧着端子のランス掛り部が圧着ケースのランスに掛っていることを確認します。



※圧着端子のリペアについて

一度挿入した圧着端子を抜く時は、DF-C-PO(B)、又は先の尖った針などを使いモールドランスを持ち上げながらケーブルを引っ張って引き抜いて下さい。リペアを行ったことでランス強度が低下している可能性があります。リペアを行った圧着ケースは再利用せずに新しい圧着ケースをご使用下さい。

